



ふれあい スポーツ

発行
 一般社団法人
 滋賀県障害者スポーツ協会
 〒520-0807 大津市松本1-2-20
 滋賀県農業教育情報センター5階
 ☎ 077-522-6000
 FAX 077-521-8118
 E-mail info@shigassk.net
 URL http://www.shigassk.net

一般社団法人滋賀県障害者スポーツ協会の設立について

滋賀県障害者スポーツ協会は、今日まで障害者スポーツの普及と振興を担い、障害者の積極的な社会参加の促進に貢献してまいりましたが、この度、令和3年10月1日をもって、将来にわたって協会運営の透明性や信頼性を確保し、その使命をしっかりと果たせるよう、新たに一般社団法人滋賀県障害者スポーツ協会を設立し、従来の協会の業務、資産および事務局機能の全部を引き継ぐこととしました。

理事 赤井 弘和
 中村 裕次
 崎山美智子
 濱川 克彦
 浅見 孝円
 北村 茂
 高野 正子
 監事 高野 正子
 所在地・連絡先
 従来通り

昭和52年7月
 滋賀県身体障害者スポーツ協会設立
 平成5年4月
 滋賀県障害者スポーツ協会に改称
 令和3年10月
 一般社団法人滋賀県障害者スポーツ協会設立

【役員制度】

一般社団法人滋賀県障害者スポーツ協会の会員は、定款に基づき会員は次の4種類とします。

(1) 社員会員

この法人の目的に賛同し、運営に協力する個人・団体(クラブ会員を除く)

(2) 一般会員

この法人の目的に賛同し、事業への参加を希望する個人

(3) クラブ会員

この法人の目的に賛同する県内の障害者スポーツクラブ

(4) 賛助会員

障害者スポーツに理解をもち、法人の事業を賛助する個人および団体
 会費と特典は右の表のとおりです。

会費は、当協会が行う事業の実施のために活用させていただきます。
 会費は年会費です。納入された年度(4月～翌年3月)のみ有効です。
 詳しくは協会のホームページをご覧ください。

会員種別	年会費	特典
社員会員	個人(1人) 2,000円 団体(1団体) 2,000円	(1) 総会への参加、議決権の行使等 (2) 会員交流事業への参加 (3) 協会発行の会報等の配布
一般会員	個人(1人) 1,000円	(1) 会員交流事業への参加 (2) 協会発行の会報等の配布
クラブ会員	1クラブ 5,000円	(1) 障害者スポーツクラブの活動への支援 (2) 協会発行の会報等の配布
賛助会員	個人(1人) 3,000円以上 団体(1団体) 10,000円 (口数に制限なし)	(1) 協会ホームページへの会員名の掲載 (2) 協会発行の会報等の配布

東京パラリンピック 滋賀県関係選手の成績結果

選手名	競技名	クラス	種目	タイム・ポイント等	順位等(結果)
藤井由美子	陸上	T12	女子マラソン	3時間17分44秒	5位
宇田 秀生	トライアスロン	PTS4	男子	1時間03分45秒	2位(銀メダル)
木村 敬一	水泳	S11	100mバタフライ	1分02秒57	1位(金メダル)
		SB11	100m平泳ぎ	1分11秒78	2位(銀メダル)
		SM11	200m個人メドレー	2分29秒87	5位
南井 瑛翔	水泳	S10	400mメドレーリレー	4分29秒85	8位
		S10	100mバタフライ	1分00秒97	予選10位
		S10	100m自由形	58秒44	予選17位
井上 舞美	水泳	S14	混合4×100mリレー	3分57秒18	4位
		SM14	200m個人メドレー	2分37秒86	8位
		S14	100mバタフライ	1分12秒00	予選12位
福井 香澄	水泳	S14	混合4×100mリレー	3分57秒18	4位
		S14	100m背泳ぎ	1分12秒58	7位
		グレードII	個人規定	66.824	7位
宮路 満英	馬術	グレードII	個人自由演技	67.434	8位
		グレードII	団体	198.378	15位
清水 千浪					
北田 千尋	車いすバスケットボール(女子)				6位
土田真由美					
田中 浩二	シッティングバレーボール(男子)				8位
田中ゆかり	シッティングバレーボール(女子)				8位

滋賀県関係 東京パラリンピックの結果

8月24日から9月5日に
 かけて開催された、東京パラリンピック大会の日本代表選手団として、滋賀県ゆかりの選手が12名出場し活躍しました。

水泳競技ではパラリンピック4回連続出場となる、日本選手団のエース、木村敬一選手(栗東市)が初の金メダルを獲得したほか、

トライアスロン競技の宇田秀生選手(草津市)が銀メダルを獲得するなど、出場した競技で多くの入賞者を輩出し、素晴らしい成績を残しました。

皆様、おめでとうございます。今後一層の活躍をお祈りしております。
 (P6に関連記事)

令和2年度 滋賀県障害者スポーツ協会事業実績

一般会計

〔1〕役員会等の開催

- (1)副会長会 5回
5月13日(水)、7月15日(水)、9月20日(日)、11月7日(土)、2月15日(月)
- (2)理事会・評議員会
理事会 3回
5月20日(水)※、10月14日(水)、3月4日(木)
- (3)評議員会 3回
6月1日(月)※、11月7日(土)、3月13日(土)

〔6〕指導員会

- 1月16日(土) 参加者28名
令和3年度事業方針・日程等
実技 ゴールボール
(7)表彰選考委員会
2月15日(月)
功労賞3名、優秀指導者賞2名を選考

〔2〕第58回県大会

- (1)個人競技
①アーチェリー競技※
5月17日(日)
県立障害者福祉センター
参加申込 35名
- (2)フライングディスク競技※
6月7日(日)
水口スポーツの森
参加申込 89名
- (3)強化委員会 3回
4月19日(日)※、12月11日(金)、3月27日(土)

〔2〕第58回県大会

- (1)個人競技
①アーチェリー競技※
5月17日(日)
県立障害者福祉センター
参加申込 35名
- (2)フライングディスク競技※
6月7日(日)
水口スポーツの森
参加申込 89名

〔4〕競技力向上委員会

- 3回
4月19日(日)※、11月22日(日)、3月27日(土)
- ※コロナ感染防止のため、4月11・12日(土日)に競技を分けて開催

〔3〕ポッチャ競技※

- 7月12日(日)
守山市民運動公園
アリーナ
参加申込 49名
- ④ボウリング競技※
8月2日(日)
ラピエタボウル彦根
参加申込 20名
- ⑤水泳競技※
8月23日(日)
県立障害者福祉センター
参加申込 31名
- ⑥陸上競技
9月20日(日)
皇子山陸上競技場

〔4〕ポウリング競技

- 8月2日(日)
ラピエタボウル彦根
参加申込 8名
- ⑤水泳競技
8月23日(日)
県立障害者福祉センター
参加申込 25名
- (2)団体競技
ア 知的障害の部
①サッカー※
11月8日(日)
野洲川歴史公園
サッカー場
- ②バスケットボール※

〔4〕全国大会出場選手強化練習会、候補・育成選手合同練習会等

- (1)個人競技
▽出場選手合同記録会
①5月23・24日(土日)※
水口スポーツの森 他
- ②6月27日(土)※
水口スポーツの森 他
- ③6月28日(日)
水口スポーツの森 他

〔6〕第20回全国大会選手団

- (1)結団式 9月24日(木)※
10月17日(土)※
- (2)日程説明会
10月17日(土)※
- (3)選手団派遣
10月22日(木)〜27日(火)※
※コロナ感染防止のため中止(鹿児島大会は令和5年に延期)。

〔9〕顕彰事業

- 令和2年度協会会長表彰
功労賞3名、奨励賞1名、優秀指導者賞2名
- 〔10〕障害者スポーツ啓発事業
(1)競技用具、展示用パネル、障害者スポーツ啓発のCDや図書、ルールブック等の貸し出しを行った。(38件)

〔7〕卓球競技

- 11月1日(日)
草津市立総合体育館
参加申込 93名
※コロナ感染防止のため中止
中止になった県大会に替わる候補選手選考会
(個人競技)
①アーチェリー競技
10月11日(日)
県立障害者福祉センター
参加申込 9名

③ソフトボール※

- 10月4日(日)
守山市民運動公園
イ 精神障害の部
①バレーボール※
11月7日(土)
県立障害者福祉センター
※団体競技は全競技がコロナ感染防止のため中止。

③3月20・21日(土日)

- 水口スポーツの森
※コロナ感染防止のため中止
(2)団体競技
全国大会出場を目指すチームが開催する練習会・交流試合等の事業を補助し、競技力強化を図った。
(一)は練習会等の回数。
①車椅子バスケット(48回)
②グラウンドソフト(6回)
③聴障バレー男女(22回)
④知障サッカー(12回)
⑤知障ソフトボール(15回)
⑥⑦知障バスケット男女(39回)
⑧精障バレー(0回)

〔8〕協会役員交流大会の開催

- (1)第16回グラウンド・ゴルフ大会
11月21日(土)※
長浜バイオ大学ドーム
12月19日(土)※
浜大津アーカス
(3)第24回ボウリング大会
3月6日(土)
ラピエタボウル彦根
参加申込 67名
※コロナ感染防止のため中止

- コーチング講座
11月22日(日) 参加者30名
- (5)専門委員会
○専門部長会 1回
12月11日(金)
- ポッチャ部会 6月19日(金)
- 卓球部会 10月20日(火)
- 水泳部会 7月30日(木)
- 陸上部会 8月25日(火)
- その他の競技部会 実施

- コーチング講座
11月22日(日) 参加者30名
- (5)専門委員会
○専門部長会 1回
12月11日(金)
- ポッチャ部会 6月19日(金)
- 卓球部会 10月20日(火)
- 水泳部会 7月30日(木)
- 陸上部会 8月25日(火)
- その他の競技部会 実施

- ①サッカー※
11月8日(日)
野洲川歴史公園
サッカー場
- ②バスケットボール※

- ①1月23・24日(土日)
水口スポーツの森 他
- ②2月13・14日(土日)
水口スポーツの森 他

- 〔7〕障害者スポーツ
コーディネーターの設置
障害者スポーツコーディネーターが、障害者の支援施設や雇用企業等を訪問し、協会事業の情報提供を行い、の改訂

- (2)会員募集チラシの作成
(3)ホームページやフェイスブックによる発信
HP年間訪問者数… 6,471件
- (4)「滋賀の障害者スポーツガイドブック(平成29年)」の改訂

「11 会報等の発行」

会報の発行 (各2,700部)
111号 令和2年12月
112号 令和3年4月

「12 協会の法人化に向けた取組」

組織運営の透明性を高めるとともに、社会的信用を確保していくことを目的として任意団体の「滋賀県障害者スポーツ協会」を法人化する

必要な調査を行い、理事会、評議員会等での意見交換を踏まえて、令和3年度中に一般社団法人へと移行する方針を取りまとめた。

「スポーツ振興基金特別会計」

「1 障害者スポーツアドバイザーの設置」

障害者スポーツアドバイザーを2名設置し、選手の発掘、障害者スポーツ普及のための相談、各種事業の実施などの取組を進めた。

「2 生涯スポーツ振興事業」

身近な地域で気軽にスポーツに親しむ機会として、スポーツ広場を開催した。

「3 大津会場(おの浜ふれあいスポーツセンター)」

9月26日(土)ほか2回
参加者 219名

「1 栗東会場(栗東市民体育館)」

8月22日(土)ほか5回
327名

「2 東近江会場(五個荘体育館)」

9月12日(土)ほか3回
296名
合計 842名

「3 スポーツ大会祝金」

1団体に祝金を交付した。

「4 競技スポーツ振興事業」

2025年の滋賀大会に向けてジュニア層や中途障害者の選手発掘・育成や指導者の資質向上を図った。

「5 競技別チャレンジスポーツ教室」

卓球13、フライングディスク5、ボウリング4、陸上7 計37名

「6 障害者スポーツに関する学校アンケート」

障害のある児童生徒のスポーツ実施状況等について学校にアンケート調査を行い、学校訪問の基礎データを収集した。

「7 アンケート回収実績」

小学校90校 中学校48校
計138校

「8 選手発掘・すそ野拡大のための学校訪問」

アンケートを踏まえ、アドバイザーが学校を訪問し、将来にむけた選手発掘や障害者スポーツの裾野の拡大を目的とした情報収集や事業PRを行なった。

「9 訪問校数 小学校29校、中学校25校 計54校」

指導者のスキルアップ研修補助

日本障がい者スポーツ協会が開催する研修会や会議に指導員を派遣し、経費の一部を助成した。

派遣数1名(全国大会障害区分判定研修)

障害者スポーツクラブ補助事業

クラブ活動費補助

協会のクラブ会員の活動を支援するため補助金を交付した。

(交付団体) 11団体

強化指定クラブ補助

2025年全国大会にむけて発掘した選手の育成を担うクラブに経費の一部を補助した。

1クラブ(対象選手4名)

「2 障害のあるアスリート支援事業」

全国規模の大会に出場する選手および指導者の活動を支援した。

(1)アスリート等への大会遠征費補助

1クラブ(対象5名)

(2)全国障害者スポーツ大会への視察補助

大会延期のため実績なし。

「3 障害者スポーツ指導者養成事業」

日本障がい者スポーツ協会公認の初級指導員養成講習会を開催し、資格取得を進めた。

8月8日(土)・10日(月)祝日開催

県立障害者福祉センター

○会場

○修了者 27名

ほか

「善悪基金特別会計」

国際大会に出場した者に対して祝金を贈呈

※実績なし

「スペシャルスポーツの広場」



10月30日 高島会場 (安曇川体育館)

今年度は大津・東近江・長浜・高島の4会場で、「スペシャルスポーツの広場」を開催しております。

今年度は昨年の大津・東近江の2会場に加え、長浜市・高島市が会場となり、4会場×各3回の計12回で

当協会では昨年まで前身となる「スポーツ広場」を開催しており、また別に県主催事業として、知的障害者の運動会「スペシャルスポーツカーニバル」を開催してまいりましたが、年一回・1会場で行なうカーニバルでは参加機会が限られるなどのことから、この2つの事業を統合し、県内各会場複数回開催する「スペシャルスポーツの広場」として、開催することになりました。

「令和3年度のスペシャルスポーツの広場の実績・予定」

地域	開催日	会場	スタッフ数	参加者数	合計人数	備考
大津市	7月31日	大津市におの浜ふれあいSC	38	36	74	
	8月28日	大津市におの浜ふれあいSC		中止		緊急事態宣言による
	1月29日	大津市におの浜ふれあいSC	37	55	92	予定
東近江市	6月5日	五個荘体育館	36	46	82	
	12月11日	五個荘体育館	42	51	93	予定
	2月26日	五個荘体育館	42	51	93	予定
長浜市	7月10日	長浜伊香ツインアリーナ	50	19	69	
	9月11日	長浜伊香ツインアリーナ		中止		緊急事態宣言による
	11月13日	長浜伊香ツインアリーナ	46	14	60	
高島市	5月8日	新旭体育館	21	35	56	
	10月30日	安曇川体育館	37	31	68	
	12月4日	安曇川体育館	38	53	91	

開催することになりました。コロナウイルス感染防止対策を講じ参加定員を設けたことで参加をお断りした会場もありましたが、地域の指導員やスポーツ推進委員等と一緒に体を動かし、大いに盛り上がりました。当協会では障害者がスポーツに親しむ第一歩としてこの事業を位置付けており、気軽に参加できる内容となっており、次年度以降も多くの皆さんの参加をお待ちしております。

令和2年度 滋賀県障害者スポーツ協会 一般会計 決算

歳入

(単位円) △印はマイナス金額

款	項	目	節	現計予算(A)	決算額(B)	不要額(A)-(B)	説明			
会費	会費	会費	会費	2,126,000	2,139,200	△ 13,200	正会員：600円×497人=298,200 クラブ：13部=65,000 賛助会員：290件=1,776,000			
			県支出金	補助金	県補助金	運営費補助金	27,802,000	27,588,723	213,277	
			補助金	補助金	県補助金	全国大会団体競技 近畿地区予選補助金	0	0	0	
委託金	委託金	委託金	県大会・SSC委託料	1,427,000	1,405,904	21,096				
			全国大会選手養成・派遣委託料	2,710,000	2,662,065	47,935				
小計				4,137,000	4,067,969	69,031				
諸収入	雑入	雑入	雑入	78,000	76,313	1,687	雇保険自己負担分：76,137 事：29 退：92 県：18 選：28 協：9			
	参加料 分担金	参加料 分担金	参加料 事業分担金	10,000 200,000	1,000 198,800	9,000 1,200	会員BW大会分 400円×497人			
繰入金	繰入金	繰入金	繰入金	0	0	0	賛助会基金より繰入			
繰越金	繰越金	繰越金	繰越金	60,000	60,692	△ 692	前年度賛助会費の繰越金(協会事業費分)			
合計				34,413,000	34,132,697	280,303				

歳出

(単位円) △印はマイナス金額

款	項	目	節	現計予算(A)	決算額(B)	不要額(A)-(B)	説明	
協会費	協運営費	事務局費	給与等	24,782,000	24,434,076	347,924	給：15,516,669 手：5,447,598 共：3,469,809	
			事務費	3,613,000	3,744,105	△ 131,105	会議：498,131 会報：547,345 事務所：845,827 他：1,852,802	
			小計				28,395,000	28,178,181
	事業費	事業費	事業費	会員交流グラウンド・ ゴルフ選手権大会	0	0	0	
				会員交流ボウリング大会	510,000	382,294	127,706	賞品等：172,650 開催通知等：133,234 他
				障害者スポーツ啓発事業	353,000	482,385	△ 129,385	チラシ等：175,485 送料他：306,900
				表彰事業費	91,000	90,684	316	表彰用具：87,235 送料他：3,449
				慶弔費	22,000	22,000	0	
				備品購入費	289,000	289,058	△ 58	
				租税公課費	96,000	96,000	0	事業消費税
	小計				1,881,000	1,872,421	8,579	
	受託事業費	受託事業費	受託事業費	県大会・SSC事業費	1,427,000	1,405,922	21,078	謝礼・メダル等：88,524 協力者旅費：101,980 プログラム・申込書等：630,916 保険・送料等：528,760 会場等：37,742 他
				全国大会選手養成・派遣事業費	2,710,000	2,662,093	47,907	謝礼：124,250 協力者等旅費：539,830 保険料・郵送料等：219,822 会場等：569,695 他
				小計				4,137,000
	合計				34,413,000	34,118,617	294,383	

収支差額 14,080円は次年度に繰越

令和2年度 スポーツ振興基金 特別会計 決算

歳入

△=マイナス 単位=円

款	項	目	現計予算(A)	決算額(B)	不要額(A)-(B)	説明	
諸収入	基金収入	スポーツ振興基金収入	8,714,000	8,714,000	0		
繰越金	繰越金	繰越金	1,387,000	1,387,913	△ 913	前年度繰越金 基金安定化事業：1,387,240 基金管理事業：673	
雑入	雑入	雑入	1,000	143	857	銀行利息 基金安定化事業：87 基金管理事業：56	
合計				10,102,000	10,102,056	△ 56	

歳出

△=マイナス 単位=円

款	項	目	事業名	現計予算(A)	決算額(B)	不要額(A)-(B)	説明
協会費	事業費	基金管理事業費	アドバイザー設置事業	7,967,000	7,972,176	△ 5,176	人件費：5,145,502 事務所賃料等：766,686 広場：1,203,674 クラブ：718,209 他
			アスリート支援事業	150,000	130,000	20,000	遠征補助：50,000 選手発掘：80,000
			指導員養成事業	597,000	594,679	2,321	指導者養成講習会開催経費
基金安定化事業費積立金				1,388,000	1,405,201	△ 17,201	
合計				10,102,000	10,102,056	△ 56	

積立金 1,405,201円は次年度に繰越

令和2年度 善意基金 特別会計 決算

歳入 △=マイナス 単位=円

款	項	目	現計予算(A)	決算額(B)	不要額(A)-(B)	説明
雑入	雑入	雑入	1,000	7	993	銀行利息
繰越金	繰越金	繰越金	822,000	822,592	△ 592	前年度繰越金
合	計		823,000	822,599	401	

歳出 △=マイナス 単位=円

款	項	目	事業名	現計予算(A)	決算額(B)	不要額(A)-(B)	説明
協会費	事業費	寄付事業費	奨励金	50,000	0	50,000	該当選手なし
積立金	積立金	積立金	積立金	773,000	822,599	△ 49,599	
合	計			823,000	822,599	401	

積立金 822,599円は次年度に繰越

令和2年度 賛助会基金 特別会計 決算

歳入 △=マイナス 単位=円

款	項	目	現計予算(A)	決算額(B)	不要額(A)-(B)	説明
雑入	雑入	雑入	1,000	273	727	銀行利息
繰越金	繰越金	繰越金	5,712,000	5,712,059	△ 59	前年度積立金
繰入金	繰入金	繰入金	520,000	510,000	10,000	協会事業費より繰入
合	計		6,233,000	6,222,332	10,668	

歳出 △=マイナス 単位=円

款	項	目	現計予算(A)	決算額(B)	不要額(A)-(B)	説明
積立金	積立金	積立金	6,233,000	6,222,332	10,668	
合	計		6,233,000	6,222,332	10,668	

積立金 6,222,332円は次年度に繰越

令和2年度 退職金積立金 特別会計 決算

歳入 △=マイナス 単位=円

款	項	目	現計予算(A)	決算額(B)	不要額(A)-(B)	説明
繰越金	繰越金	繰越金	1,081,000	1,081,800	△ 800	前年度繰越金
雑入	雑入	雑入	1,000	92	908	銀行利息
合	計		1,082,000	1,081,892	108	

歳出 △=マイナス 単位=円

款	項	目	現計予算(A)	決算額(B)	不要額(A)-(B)	説明
積立金	積立金	積立金	1,081,000	1,081,800	△ 800	
繰出金	繰出金	繰出金	1,000	92	908	銀行利息は一般会計(雑入)へ
合	計		1,082,000	1,081,892	108	

積立金 1,081,800円は次年度に繰越



全国大会選考会の部 ボッチャ競技(10月31日)

個人競技

「スポーツフェスタの部」

○卓球

6月12日(土)、野洲市総合体育館で開催しました。50名の参加申し込みがあり、勝敗にこだわらず競技を楽しむ姿が印象的でした。

県大会については、昨年度で基本的に競技大会形式で運営しており、初心者も参加できるクラスを設けるなどの配慮をしておりますが、参加しにくいと感じる方がおられるとのことでした。

そこで、令和3年度の第59回県大会より、スポーツを楽しむ方の「スポーツフェスタの部」と、スポーツで競う方の「全国大会選考会の部」に分けて、開催しました。

○陸上競技

6月26日(土)、甲賀市水口スポーツの森にて開催しました。57名の参加申し込み者の中にはベテランの方も多く含まれていました。

○フライングディスク

7月3日(土)、長浜バイオ大学ドームにて開催しました。67名の参加申し込みがあり、大きなドームを広々と使ってプレイを楽しんでいました。

○ボッチャ

7月24日(土)、YMITアリーナ(草津市)で、開催しました。45名の参加申し込みがあり、ボッチャの人気を物語っていました。

【全国大会選考会の部】

○フライングディスク

10月2日(土)、甲賀市水口スポーツの森にて開催しました。64名の参加申し込みがあり、選考会にふさわ

しく、風を読みながらの白熱したプレイとなりました。

○ボウリング

10月2日(土)、ラピュタボウル彦根にて開催しました。40名の参加申し込みがあり、全国大会クラスでは高得点が連続しました。

○水泳

10月9日(土)、県立障害者福祉センター・プールで開催しました。38名の参加の中に3名の東京パラ出場選手も含まれ、大会に華を添えました。

○アーチェリー

10月9日(土)、県立障害者福祉センター・アーチェリー場で開催しました。12名の参加申し込みがあり、車いすを含む選手たちの熱い戦いが繰り広げられました。

○ボッチャ

10月31日(日)、信楽体育館で開催しました。参加申し込み14名の少数となりましたが、高いレベルの競技が繰り広げられました。

○卓球競技

11月6日(土)、草津市総合体育館で開催しました。89名の参加があり、全国大会を狙うにふさわしい、熱戦が繰り広げられました。

※9月18日(土)に皇子山陸上競技場で予定していた陸上競技はコロナ感染拡大防止のため中止しました。

団体競技

【全国大会選考会の部】

11月6日(土)および11月14日(日)にかけて、団体競技の県大会を開催しました。各競技の結果は次の通りです。

○知的障害者ソフトボール競技

11月14日(日) 守山市民運動公園

ソフトボール競技の結果表。1位: ミラクルスターズ (28点), 2位: 長浜北星高等養護学校 (14点), 3位: SSS (2点), 4位: 滋賀ビッグレーク (9点), 5位: 甲南高等養護学校 (4点), 6位: シューティングスターズ (14点), 7位: チャレンジたかしま (8点), 8位: しがらっきーず (17点)。

○精神障害者バレーボール競技

11月6日(土) 滋賀県立障害者福祉センター

バレーボール競技の結果表。イ: ホワイトドラゴンズ (0点), ロ: ボンボンズ (2点)。

○知的障害者サッカー競技

11月14日(日) 野洲川歴史公園サッカー場

サッカー競技の結果表。イ: FCアルビレオ (7点), ロ: FC滋賀 (1点)。

○知的障害者バスケットボール競技

11月14日(日) 守山市民体育館

バスケットボール競技の結果表。男子: 優勝 Ratel(1) (49点), 準優勝 SMILE FACE (32点)。女子: 優勝 信楽学園・長浜北星・福祉センター (30点), 準優勝 ト 愛知高等養護学校 (20点)。

会長表彰

令和3年度 令和3年度協会会長表彰を行いました。栄えある受賞者の皆さんは次の通りです。

（敬称略・順不同） ※コロナウィルスのため、表彰式は行なわず、表彰状の伝達を行いました。 ▼障害者スポーツ功労賞（3名）

協会役員または指導員として10年以上に亘り、障害者スポーツの振興・発展に貢献した者。 ○今江 美芳子(大津市) ○大森 治 (守山市)

ツの振興に多大な貢献をした者。

○千代 章浩(大津市) ▼優秀指導者賞(2名) 指導員として障害者スポーツの振興に貢献し、今後も活躍が期待できる者。 ○山口 正彦(東近江市) ○稲田 伸子(大津市)

パラ選手の「県民栄誉賞」「県民スポーツ大賞栄誉賞」について

滋賀県では東京オリンピックで活躍した大橋悠依選手とパラリンピックで活躍した木村敬一選手について、新たに「滋賀県県民栄誉賞」を設け贈呈することになりました。

木村選手は水泳競技でパラリンピック大会に4回連続で出場を果たし、今大会では自身として初の金メダルを含む2つのメダルを獲得するなど、素晴らしい活躍を見せられました。

またパラリンピック初出場ながら、トライアスロン競技で見事銀メダルを獲得した宇田秀生選手については、滋賀県民スポーツ大賞・栄誉賞が贈られました。両選手の活躍は滋賀県の障害者スポーツの誇りです。

賛助会員について

当協会の趣旨をご理解頂き、賛助会員としてご支援頂いた、団体・個人様は次の通りです。 今後とも障害者スポーツの振興・発展のために、ご支援くださいますよう、お願い申し上げます。

団体会員 268団体 個人会員 37人 計 305団体・個人 (12月1日現在)

※賛助会員の一覧については協会ホームページに掲載しています。

全国障害者スポーツ大会(三重大会)の中止について

コロナ感染防止のため「三重とこわか大会」が中止となりました。これを受けて代替大会が令和4年2月にかけて、東海、関西の代表チームが参加して開催されることになりました。滋賀県からは卓球、フライングディスクなど12競技に出場を予定しています。

事務局だより

○新職員紹介



コーディネーター 榎 栄作



アドバイザー 佐々木 健児

4月よりコーディネーターとして勤務している榎栄作(えのきえいさく)です。企業等を訪問し、障害者等に障害者スポーツの魅力を伝えて行きたいと思っております。宜しくお願ひ申し上げます。



県大会(知的障害者サッカー競技)の1コマ

岩見アドバイザーの後任として9月より勤務している佐々木健児(ささきけんじ)です。 学校訪問等を行いながら、スポーツ広場などの事業で皆様のお役に立ちたいと思っております。 ○古切手等回収協力者 大津市 田渕千恵子 彦根市 川平 貢永 守山市 西川 忠男 津田 貞子 大森 治 栗東市 松岡 恵美 野洲市 高木正二郎 高島市 山下 育代 樋口金物株 (順不同・敬称略)